



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.41

西仙北地域の刈和野地区で主に発酵食品に必要な不可欠な種こうじなどの種菌の研究・製造を行っているのが、株式会社秋田今野商店(今野宏代表取締役社長)です。

同社は、1910(明治43)年に京都で醸造材料商今野商店として創業し、1947(昭和22)年に先祖代々の地である現在の刈和野地区に種こうじの製造工場を新設しました。創業100年を迎えた2010(平成22)年には、神戸市にあった「今野もやし」を吸収合併するなど、秋田刈和野の製造体制を強化。国内はもとより海外の業者とも取引がある国内有数の種こうじメーカーです。

「種こうじ」のうち、私たちの食生活に欠かせない、みそ、しよ



革新を生み出す伝統技術

株式会社秋田今野商店[西仙北]

製造品目/こうじ菌、酵母菌、乳酸菌など

従業員数/35人

★今回の案内人は生産・技術部長の佐藤勉さん

うゆ、酢、みりんなどの調味料や日本酒、焼酎などの醸造に使われているのが「こうじ菌」です。こうじ菌は用途別に種類が違いため、製造する工場を分けており、大仙市内に6カ所の工場を有しています。

平成29年11月には、同社と秋田県総合食品研究センターで共同開発した秋田県オリジナルこうじ「あめこうじ」が、特許庁長官賞を受賞し、これを活用した化粧水や甘酒などの商品が全国各地で販売されています。

伝統に裏打ちされた技術を継承し、発展させている同社。地元の高校生を積極的に採用し、日本の醸造界のニーズに即した製品を提供していきます。